

トンガ王国の幼稚園および 小学校で実施している歯科保健 マリマリプログラム

竹内麗理^{1,7}, 河村康二^{2,7}, 遠藤眞美^{3,6,7}, 松本京子^{4,7},
田口千恵子^{5,7}, 有川量崇^{5,7}, 妻鹿純一⁶, 小林清吾^{5,7}

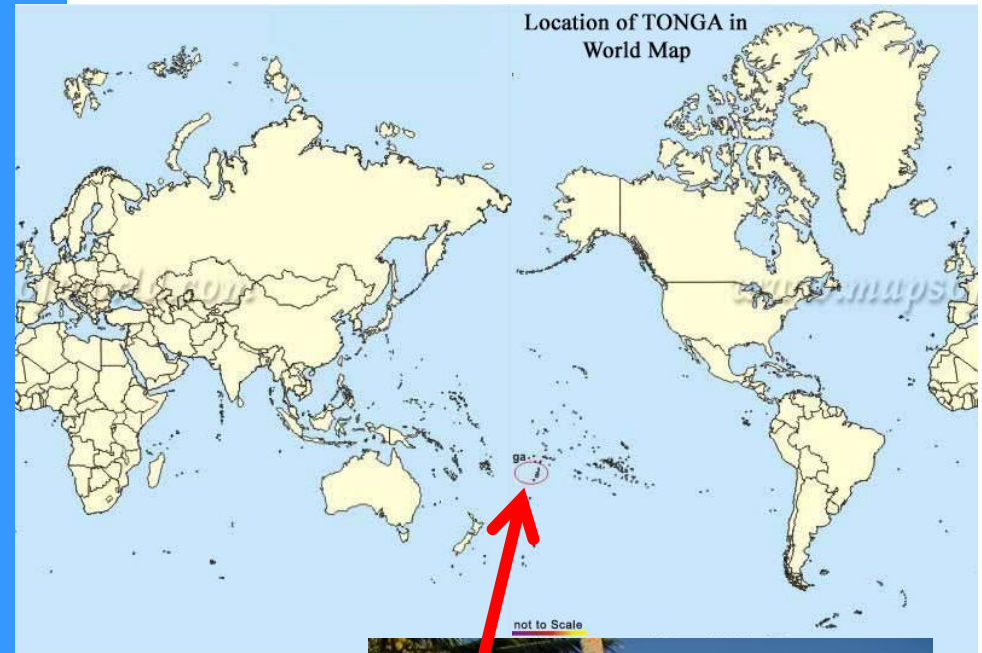
¹口腔分子薬理学講座, ²カワムラ歯科医院,

³九州歯科大学学生体機能制御学講座摂食機能リハビリテーション学分野,

⁴付属病院歯科衛生士, ⁵社会口腔保健学講座, ⁶障害者歯科学講座,

⁷南太平洋医療隊

トンガ王国



東京23区

Tongatapu



Tonga Islands





トンガ王国

南太平洋医療隊員およびトンガ王国歯科室員



マリマリプログラム



マリマリ プログラム



マリマリプログラムで実施していること

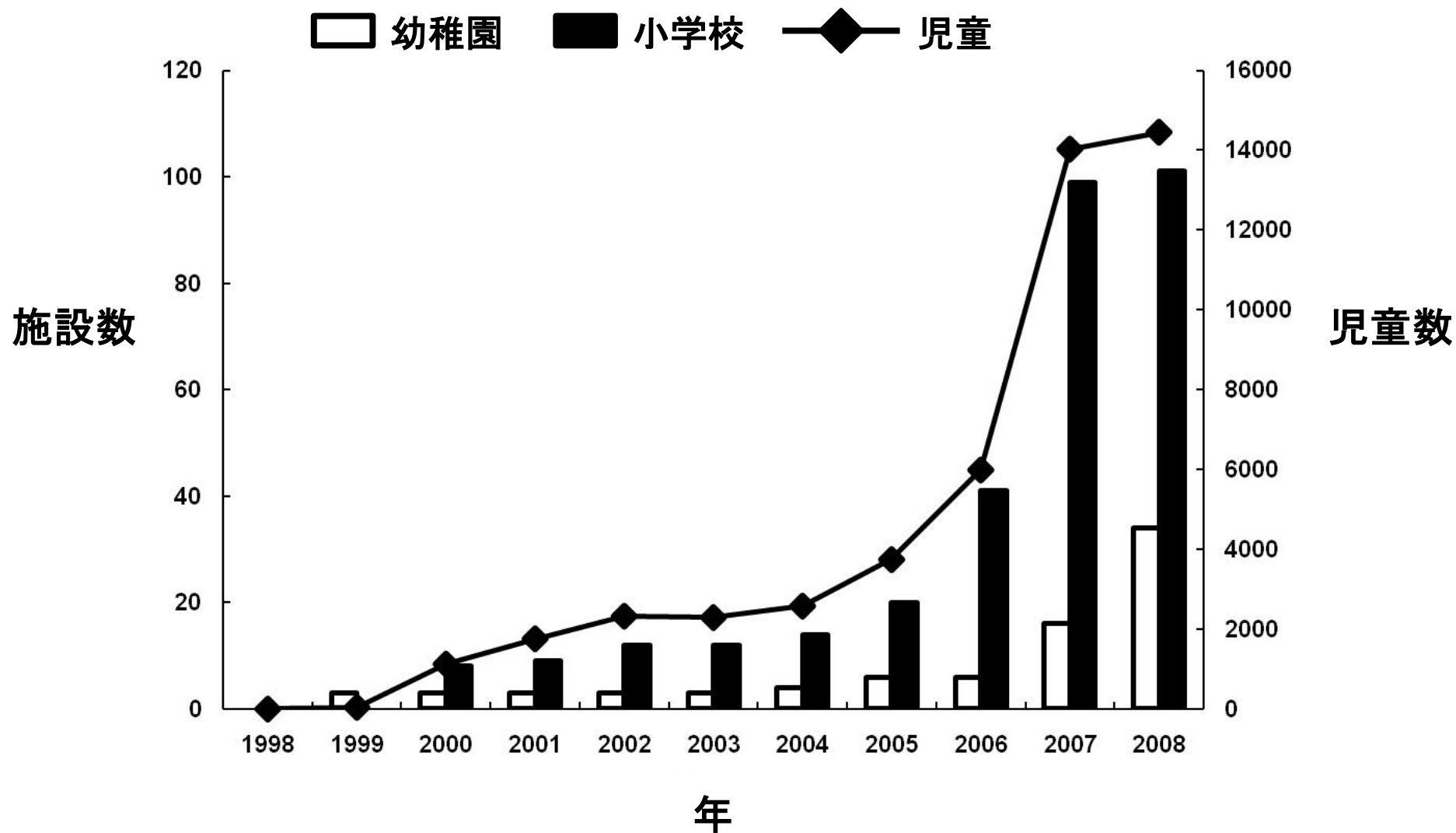
小学校，幼稚園，障害者施設などを対象として

- フッ化物洗口法 (0.2%NaF溶液による週1回法)
- ブラッシング指導
- 歯科保健教育指導
- 歯科検診
- 歯ブラシ，歯磨剤の寄付

など

ブラッシング・フッ化物洗口の動画

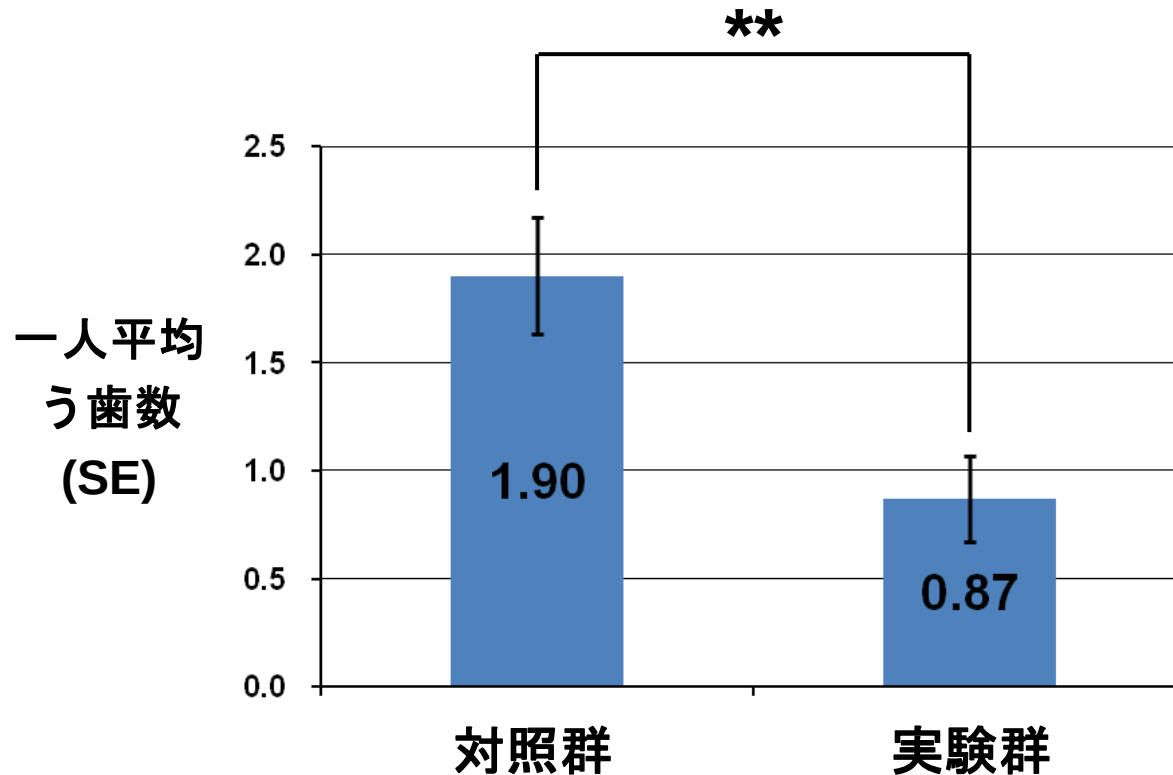
マリマリプログラム参加施設および児童数の年次推移



マリマリプログラムのう蝕予防効果の判定方法

- トンガ王国本島6小学校の10歳の児童109名に対して歯科検診を行った。
- 対照群はマリマリプログラム実施期間1年未満の児童63名，実験群は5年6か月以上の児童46名である。
- 診査は一名の歯科医師によって行われた。
- 太陽光と懐中電灯，歯鏡と規格探針を用いた視診型で行い，歯面単位で記録した。
- 診査項目はシーラント充填歯， C_0 ， C_1 ， C_2 ， C_3 ， C_4 ，う蝕による喪失歯，処置歯である。
- シーラントおよびレジン充填歯と健全歯の確認には染色液を用いた。
- X線診断は用いられなかった。
- 初期う蝕の検出は C_1 (日本学校歯科医師会) の基準以上とし， C_0 はう蝕とされなかった。
- その他のう蝕進行度分類は日本口腔衛生学会の基準に従った。
- う蝕進行度の比較検討に際して， C_1 と C_2 を軽度う蝕歯， C_3 と C_4 およびう蝕による喪失歯を重度う蝕歯として分類した。
- 予防率 = $[(\text{対照群の一人平均う蝕数} - \text{実験群の一人平均う蝕数}) \div \text{対照群の一人平均う蝕数}] \times 100$

マリマリプログラムのう蝕予防効果



予防率
54.2%

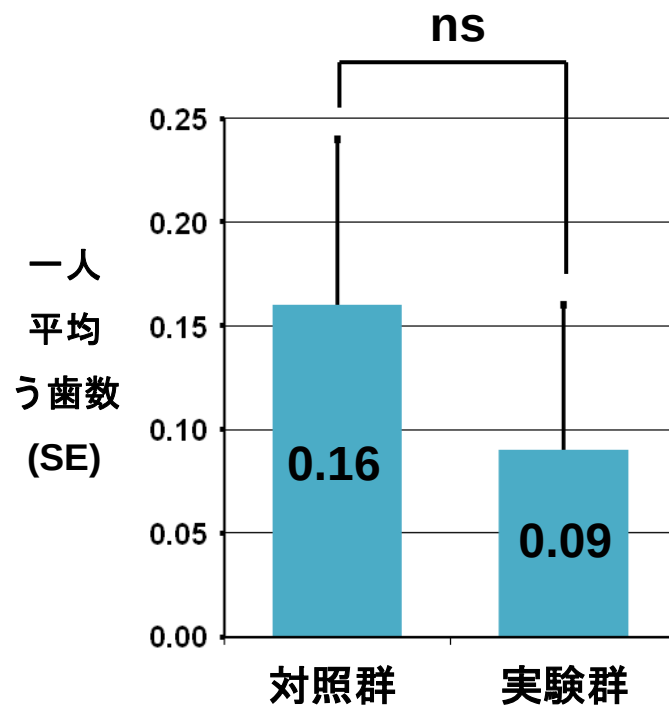
対照群：マリマリプログラム実施期間1年未満の児童63名

実験群：マリマリプログラム実施期間5年6か月以上の児童46名

差の有意性 (t-検定) ** : $p < 0.01$

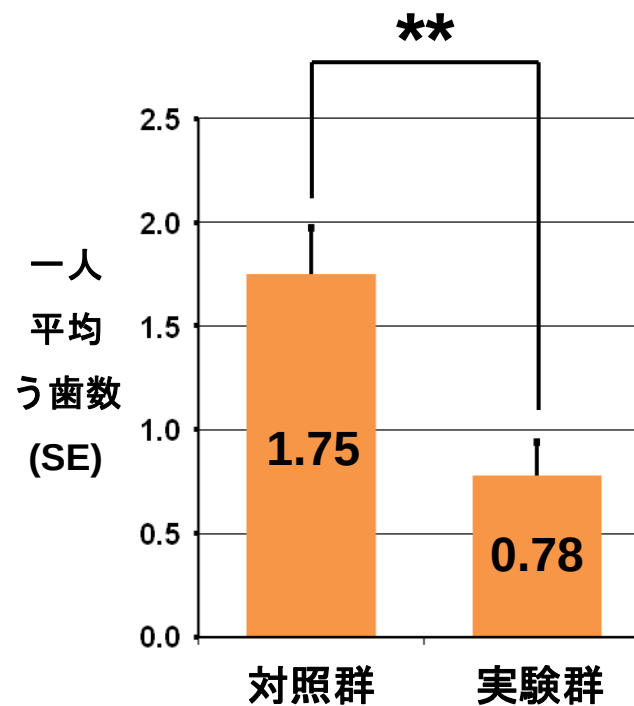
前歯部

予防率 43.8%



臼歯部

予防率 55.4%



対照群：マリマリプログラム実施期間1年未満の児童63名

実験群：マリマリプログラム実施期間5年6か月以上の児童46名

差の有意性 (t-検定) ** : $p < 0.01$ ns : 有意差なし

今後の予定

南太平洋医療隊は2010年2月から、マリマリプログラムの強化向上のために、トンガ王国保健省、教育省、独立行政法人国際協力機構 (JICA) の協力のもと、フォローアップ事業「トンガ王国における学校歯科保健活動向上の為のプロジェクト」を実施している。

本事業の目的は、トンガ王国内においてマリマリプログラムの担い手を増加させ専門知識や能力を向上させることであり、その方策は歯科保健マニュアル・教材を作成することである。